

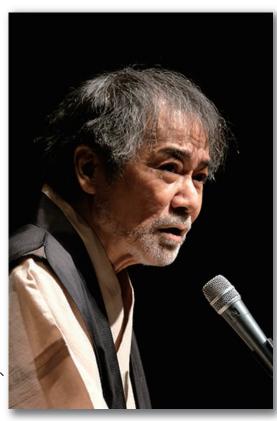


稲川淳二 (怪談家) Junji Inagawa

1947年8月21日 東京都渋谷区恵比寿生まれ。 現在73歳。 株式会社ユニJオフィース所属。

桑沢デザイン研究所を経て工業デザイナーとして活動し、 過去には専門学校や短期大学にて立体構造の講師として教鞭をとる。 平成八年度には、個人でデザインを手がけた「車どめ」が、 当時の通産省選定のグッドデザイン賞を受賞。

元祖リアクション芸人として、そして怖い話を得意とするタレントとして 茶の間を賑わせていた45歳の年に怪談ライブを始め、その反響の 大きさに感銘を受け、残りの人生を怪談家として没頭することを決意する。 自身の怪談を愛してくれる多くのファンの方々に失礼の無いようにと、 怪談を探求することを第一に考え、55歳の全盛期に周囲の反対を押し切り、 あらゆるレギュラー番組やドラマ出演から降板した。



2012年、"MYSTERY NIGHT TOUR 稲川淳二の怪談ナイト"の20年連続公演の偉業が認められ、 八月十三日が「怪談の日」として制定された。

また、昨今は怪談家としての活動のみならず、障害者の子供を持つ親の見地からバリアフリーや人権がテーマの講演会にも精力的に参加をしている。

◆ 新譜リリース情報

【CD】 MYSTERY NIGHT TOUR Selection 22 「待っていた友」

MNT Record / MNT-22/¥2,750税込 / 2021年6月4日 発売

次世代に語り継がれるべき唯一無二の「稲川怪談」。 その軌跡を収めたセレクションシリーズ第22弾が完成!

<収録内容>

- 1. カメラマンの懊悩(2004)
- 2. オレンジのフード (2014)
- 3. 待っていた友(2011)
- 4.トンネルの杭 (2005)
- 5. バーテンとの再会 (2013)

※年号はツアー発表時のものです。

MYSTERY NIGHT TOUR 箱川淳二の怪談 Selection 22

【DVD】 MYSTERY NIGHT TOUR 2020 稲川淳二の怪談ナイトライブ盤

MNT Record / MNTV-20/¥4,180税込 / 2021年6月4日 発売

コロナ禍で実施された28年目の全国ツアーは、感染リスクを最小限に抑えるため、 すべての規模を縮小しての開催となった。

スタッフの人数、機材の物量、そして販売可能座席のキャパシティ… だがそのような状況下でも、稲川の笑顔やファンへの気遣い、思いや愛情は なにひとつかわることはなかった。

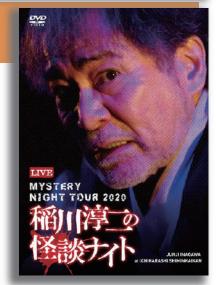
初期の怪談を彷彿とさせた「湯治場」、

集合住宅に住む誰しもが恐怖を感じてしまう「事故物件」、

そして時空を超えた愛、母を想う姉妹の気持ちを感情豊かに語った最終話 「分身」では、場内に多くの涙が流れた。

2020年、この混沌とした時の中で「稲川怪談」は更なる境地を切り開いた。 〈収録内容〉

1. 留守宅 2. 指輪の女 3. 湯治場 4. 事故物件 5. 分身





【舞台構成】

怪談約90分、心霊写真解説約30分の二時間構成。

【進捗情報】

毎年趣向を凝らした美術セットが話題の公演ではあるが、 舞台上での"密集"を避けるため、昨年は大掛かりな設営を断念した。 限られた時間の中で、大型トラック満載の機材を設営・撤去するためには、 数十名のスタッフの同時作業が必要となるため、今年も世情を鑑みることになった。 具体的な造形物は存在しないものの、稲川怪談の想像世界を増幅させるような 雰囲気ある舞台背景が用意されている。

披露される稲川怪談は今年もすべて新作の予定。 「ひとことで言えば、"ノスタルジックで風情のある話"が中心になるかなぁ…」 確かな手応えを感じているような穏やかなつぶやき。 今年も稲川は、時間の経過を忘れさせるような静寂の中に身を置き、 独り静かに筆を執り続けている。



【今年もあいつがやってくる…】

2020年、未曾有の事態に自粛を余儀なくされたエンターテイメント業界。 殆どのアーティストが予定していた公演を断念する中で、決して諦めることなく、 開催にこぎつけるための必要な術や手段を模索し続けた"MYSTERY NIGHT TOUR 2020"。 「今年もありますよね?」、「今年も夏には稲川さんに会えますよね?」、

「こんな時だからこそ座長は来てくれますよね?」…

人のあたたかさが前を向く力になる。

できない理由をいくつも用意して自身を正当化するくらいなら、

前を向こう、顔をあげよう。

稲川座長の強い決意のもと、細心の注意と万全の対策を施し、 公演スタッフや関係者、そして来場者からも一人の感染者を出すことなく 全国43公演を駆け抜けた。

「夏だから観たくなるのではなくて、私の人生にとって必要だから 毎年行きたくなるんだということに気づかされました」

「こんな大変な時なのに、全国ツアーを開催して頂いて感謝しています。 稲川さん、そしてスタッフのみなさん、 夏を連れてきてくれて本当にありがとうございました」

「当日まで悩み続けましたが、参加して本当に良かったです。 ここがふるさとです。稲川さんは日本の宝です」

緊急連絡先記入用紙やアンケートには、たくさんのありがたい言葉が寄せられ、 過酷な時期に全国ツアーを成し遂げた最初のアーティストとして、 業界内からも賛辞を浴びた。

そして2021年。

まだ覚めやらぬ騒動、昨年以上の緊迫感の中で、73歳は29年目の夏を迎える。 イベントを含め、全国で50公演の開催が決定した!!

今年もあいつがやってくる…





稲川怪談】

我々が感じる怖さの観点さえもが変わってゆく、歪(いびつ)で不安定な時代の中、 怪談の第一人者である稲川が語る怖い話の数々は、怖さそのものよりも、 むしろノスタルジックなやさしさのようなものを感じ取ることができる。

怖いものを怖いと教えてくれた大人達、いけない事をいけないと叱ってくれた大人達が少なくなってしまった昨今、語り継いでゆくべき人の思いを、稲川は怪談を通じて伝えているのかも知れない…。

怪談をライブで語り続けてきた四半世紀を、 稲川は「過ぎ去った時間ではなく、蓄積された時間」だと言う。 時間は永遠にあると信じて疑わなかった若かりし日々の稲川も、 気がつけば人生を逆算するようになっていた。 これから何年ではなく、あと何年と思うようになってから、 今日一日を、今という瞬間を大切にしようという意識が強く芽生えたと言う。

怪談は表通りにある洒落たフランス料理店やレストランではなく、 横丁の路地を入ったところにある小さな駄菓子屋のようなもの。 決して高級ではないけれど、子供も大人もお年寄りも、 日本人の誰もが心を踊らされたことのある懐かしくて落ち着ける穏やかな場所。

怖さの裏に、奥深さや優しさ、教えや思いやりが、確かに共存している稲川怪談。 「怪談を語り続けることによって、私はやさしい人間になれた」と稲川は言う。 怪談とは人と人とを繋げるもの。

怪談とは聞いて下さるみなさんの記憶をたどらせるもの。 そして怪談を理解するという事は、"感性"を持っているということ。

1993年からひと夏も立ち止まることなく継続してきた「稲川淳二の怪談ナイト」。 ここには時代に置き去りにされた心の豊かさが確かに存在している。 だからこそ人々は一年に一度、怪談爺いの待つ田舎に帰省してくるのだろう。

ファンの笑顔や歓声は、毎回稲川に多大なエネルギーを与えてくれる。日光浴や森林浴があるように、稲川はファンと共有できる貴重なその時間を"人間浴"と名付け、明日への活力の源として、そして残された時間の糧として心から大切にしている。命ある限り鳴き続ける活発な真夏の蝉のごとく、そこに愛がある限り、怪談爺いの語る"稲川怪談"は、永遠の轍を残していくのだろう…。





TOUR SCHEDULE

- 7月10日(土) 宇都宮市文化会館 小ホール(栃木)
- 7月11日(日) 昌賢学園まえばしホール <前橋市民文化会館> 小ホール(群馬)
- 7月17日(土) 西東京市保谷こもれびホールメインホール(東京)
- 7月18日(日) 西東京市保谷こもれびホール メインホール(東京)
- 7月22日(木祝)愛媛県県民文化会館・サブホール(愛媛)
- 7月23日(金祝)レクザムホール <香川県県民ホール> 小ホール(香川)
- 7月24日(土) しこちゅ~ホール <四国中央市市民文化ホール> 大ホール(愛媛)
- 7月25日(日) 高知市文化プラザ・かるぽーと(高知)
- 7月28日(水) 八王子市芸術文化会館 いちょうホール 大ホール(東京)
- 7月30日(金) 浜松市勤労会館 Uホール(静岡)
- 8月1日(日) 仙台電力ホール(宮城)
- 8月7日(土) サンパール荒川 大ホール(東京)
- 8月8日(日) 市原市市民会館 大ホール(千葉)
- 8月9日(月祝) 日立市民会館(茨城)
- 8月12日(木) メルパルクホール大阪(大阪)
- 8月13日(金) メルパルクホール大阪(大阪)
- 8月14日(土) メルパルクホール大阪(大阪)
- 8月15日(日) メルパルクホール大阪(大阪)
- 8月21日(土) 茅ヶ崎市民文化会館 大ホール(神奈川)
- 8月22日(日) 札幌道新ホール(北海道)
- 8月23日(月) 札幌道新ホール(北海道)
- 8月28日(土) 岡山市民会館(岡山)
- 8月29日(日) JMSアステールプラザ 大ホール(広島)
- 8月31日(火) 周南RISING HALL(山口)
- 9月3日(金) 横浜・関内ホール(神奈川)
- 9月4日(土) 横浜・関内ホール(神奈川)
- 9月5日(日) さいたま市民会館おおみや(埼玉)
- 9月9日(木) 北國新聞赤羽ホール(石川)
- 9月10日(金) 敦賀市民文化センター 大ホール(福井)
- 9月11日(土) 砺波市文化会館(富山)
- 9月12日(日) 長野市芸術館 メインホール(長野)
- 9月18日(土) 岩手県民会館 中ホール(岩手)
- 9月19日(日) とうほう・みんなの文化センター<福島文化センター> 小ホール(福島)
- 9月20日(月祝) りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 劇場(新潟)
- 9月23日(木祝)メルパルクホール東京(東京)
- 9月24日(金) メルパルクホール東京(東京)
- 9月25日(土) メルパルクホール東京(東京)
- 9月26日(日) メルパルクホール東京(東京)
- 10月2日(土) 日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール (愛知)
- 10月3日(日) なら100年会館 大ホール(奈良)
- 10月8日(金) ももちパレス 大ホール(福岡)
- 10月10日(日) アクリエひめじく姫路市文化コンベンションセンター> 中ホール(兵庫)
- 10月16日(土) 和光市民文化センター サンアゼリア(埼玉)
- 10月17日(日) シライシアター野洲 < 野洲文化ホール > (滋賀)
- 10月22日(金) 諫早文化会館 大ホール(長崎)
- 10月23日(土) 宇佐文化会館・ウサノピア 大ホール(大分)
- 10月30日(土) ナムラホール(沖縄)
- 10月31日(日) ナムラホール(沖縄)

